

人間情報学部 10 周年記念号に寄せて

人間情報学部長 三和 義秀

人間情報学部は、1985年に設置された文学部図書館情報学科を母体として、人間（ヒューマンアナライジング系列）、情報（リソースマネージング系列）、技術（コンテンツデザイン系列）の3分野を相互に学べる学際的な教育を目指して2010年4月に人間情報学科1学科（定員200名）で発足し、2019年に10周年を迎えました。

この間、2016年度からは情報デザイン・システム専修、心理情報専修、図書館情報学専修からなる専修化を行い、この10年の間に7期の卒業生を送り出して社会の様々な分野で大活躍しています。

ここに10周年を迎えることができましたのは、学生のご父母の皆さま、企業や地域の皆さま、学長先生からのご支援、そして学生と10周年記念号の「10周年のあゆみ」に掲載されている初代学部長の西荒井学先生をはじめとする延べ45名の専任教職員の皆さまのご尽力の賜物であると心より感謝申し上げます。

学部創設11年目となる2020年度からは、「10周年のあゆみ」に示したように、これまでの情報デザイン・システム専修の情報デザイン領域と情報システム領域を専修として切り分け、情報システム専修にシステム制作と図書館情報学のコース、情報デザイン専修にユニバーサルデザインとクリエイティブデザインのコースを設けて心理情報専修の心理情報コースとともに3専修5コース制として、育成する人材像をより明確化していきます。

また、この3専修5コース制にあわせて、「基礎心理学演習」を1年次必修科目として新設することで心理学的実験手法の教育をより強化し、さらにAI時代を踏まえて文系学生のための「AI（人工知能）入門」を2年次必修化してビッグデータ入門やPythonプログラミングなどAI関連の科目も増強し、ICTに強い司書や情報スペシャリストの育成もより強化いたします。

大学の理念である「違いを共に生きる」を念頭に、これからも「AI時代を踏まえながら、人が感じる心地よさを心理学と情報学でとらえ、ユニバーサルデザイン社会の実現に貢献できる人材育成」を、文系の知と理系の知の接続による学際的な教育・研究によって実現してまいります。

学部創設10周年を人間情報学部のさらなる展開の飛躍台として、これからも教育・研究に努力してまいりますので、今後とも変わらぬお力添えのほどお願い申し上げます。

終わりに「10周年記念号」の編集の労にあたられた方々に深甚なる感謝を申し上げて、記念誌刊行のご挨拶といたします。